

<「知るっば!久留米」 令和2年6月18日(木) 12:30~放送分>

## 久留米の防災 ～第3回～ 大雨直前の行動

<ゲスト：久留米市防災対策課 主査 湯口 秀隆さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば!久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

6月は雨のシーズンということで、『久留米の防災』というシリーズでお送りします。

ゲストは、この方です。

ゲスト:湯口秀隆さん (以下「湯口」)

久留米市役所総務部防災対策課の湯口と申します。

よろしくお願いします。

坂本 防災シリーズの第3回となりました。

テーマは『大雨直前の行動』です。

大雨は天気予報や警報などである程度予想はできると思うんですが、私たちが大雨直前にやるべきことや、逆にこれやっちゃダメだよってことを教えてください。

湯口 大雨直前にやるべきことですが、まずはテレビやラジオなどで情報収集をしていただくことが大事だと思います。

例えば、台風であれば進路予想などがニュースでやっていますので、そういったもので情報収集をお願いしたいと思います。

それから、最近の豪雨でよくあるのが、車が水に浸かったという話がありますので、車が浸かる危険性がある方については、事前に車の避難をしておくことも重要だと思います。

あと、避難行動をするタイミングですが、市でも避難情報や警報を発令しますが、なるべく自分の中で『あそこの川が、この高さになったら』など、各自で避難行動をする基準を作っておくことも大事だと思います。

逆にやっちゃダメなことというわけではないのですが、『正常性バイアス』という言葉聞いたことがある方もいらっしゃると思います。

どういう意味かという、『自分は大丈夫だろう』とか、『ここは今まで災害がなかったから、今回も大丈夫だろう』という積極的というか前向きな気持ちに聞こえますが、こういった思考が逆に避難行動を遅らせることになります。

なので、今までは被災しなかったとしても、次は被災する可能性もありますので、大丈夫だろうという気持ちは捨てて、『もしかしたら被災するかも』という思考で行動していただきたいと思います。

それから、被災された方の話で必ず出てくるのが、『まさか災害が起きるとは』、『まさか家が水に

浸かるとは』という言葉ですので、そのままかにならないように、『もしかしたら』という気持ちを持っていただきたいと思います。

坂本 過信せずに、用心をするということですね。  
避難所や安全な場所に移動するタイミングはとても大事だと思うのですが、そのタイミングの目安になるようなものってありますか？

湯口 危険性が高まってくると、市から避難情報を発令します。  
避難情報は主に3種類ありますが、まず1つ目が、警戒レベル3の『避難準備』です。  
これは高齢者などの避難開始を促すものです。  
これは、『災害が発生する可能性がありますので、避難する準備を始めてください。特に、高齢者などの避難に時間を要する人は、避難を開始してください』というものになります。  
次に、警戒レベル4の『避難勧告』です。  
これは、『災害が発生する恐れが極めて高いので、速やかに避難行動をとってください』というものになります。  
最後に、同じく警戒レベル4の『避難指示(緊急)』になります。  
これは、『まだ避難できていない方は、緊急に避難をして下さい』というものになります。  
ちなみに、警戒レベル5っていうのもあるんですが、これは『既に災害が発生しているので、命を守る最善の行動を取ってください』というものになります。  
市や気象庁からたくさん情報が出ていますので、ご自身でテレビやインターネットの情報を事前に確認していただくことが大事だと思います。

坂本 色々な情報を積極的に手に入れることが重要ですね。  
他にも、久留米市が独自に発信している取り組みがありますよね？

湯口 久留米市では、災害時の防災行政無線を使った情報伝達ですとか、このドリームス FM の電波を使った防災の啓発放送ですとか、市で販売している緊急告知防災ラジオを使った緊急情報の提供をしております。  
また、今年度からの新しい取り組みとしまして、携帯電話やスマートフォンをお持ちでない方や緊急速報メールが届かない方などに対して、自宅の固定電話や FAX に避難勧告等の避難情報を無料でお届けする『久留米市避難情報配信サービス』を始めました。  
こちらは、一定の条件があり、申請が必要になりますので、詳しくは防災対策課までお問い合わせください。  
電話番号は、0942-30-9074になります。

坂本 久留米市では、新しい取り組みが始まりました。  
力強いと言うか、心強いですね。  
詳細は、電話番号0942-30-9074 におたずねください。  
次に、お住まいの校区や地域に避難所があるんですけど、そこに持っていく物として、どんな物を準

備しておいたらいいですか？

湯口 避難所には、毛布、マット、あとアルファ化米などの簡単な避難グッズを準備しています。  
また、水害時など避難情報が発令された場合は、アルファ化米ですとか、避難所が長期になれば、お弁当やパンなどを提供させていただいております。  
ただ、台風時に開設する自主避難時の避難所では、食料が出ません。  
その時は、各自で食べ物や飲み物を必ず持参していただきたいと思います。  
それから、今年は新型コロナウイルスの影響がありますので、マスクは必ず避難所でもしていただきたいと思います。  
あと、除菌スプレーや消毒液などは市でも準備しますが、ご自身でも準備していただけるとありがたいです。

坂本 避難警報が発令されたら避難所でご飯がでるけど、自主避難の時はご自身でお持ちくださいということですね？

湯口 そうでございます。

坂本 最後に防災対策課からメッセージがあるそうなのでお願いします。

湯口 先ほどもコロナウイルスの話をさせていただきましたが、今後、これからまた水害の時期になります。  
まずは、事前にご自身の自宅や勤務先が、どの河川から、どのくらいの影響を受けるのかをご確認ください。  
そして、避難所や安全な場所への移動が本当に必要なのか、自宅の2階など屋内の安全な場所に逃げる垂直避難でいいのかを確認することが大切だと思います。  
マンションの高層階や浸水想定区域以外にお住まいの方が避難所に行くことが、逆に危険な可能性もあります。  
各自で避難所に行く必要があるのかを、事前に確認しておくことが大切だと思います。

坂本 湯口さん、どうもありがとうございました。  
久留米市では、大雨が降った際の危険箇所を詳しく確認できるハザードマップを作っており、公式ホームページでもご覧いただけます。  
また、災害時には緊急速報メールやドリームス FM の緊急告知防災ラジオなどで、避難情報や災害情報を発信しています。  
大雨に備えて、防災意識を高めていきましょう。  
次回は、『大雨直後の行動』をテーマにお届けします。